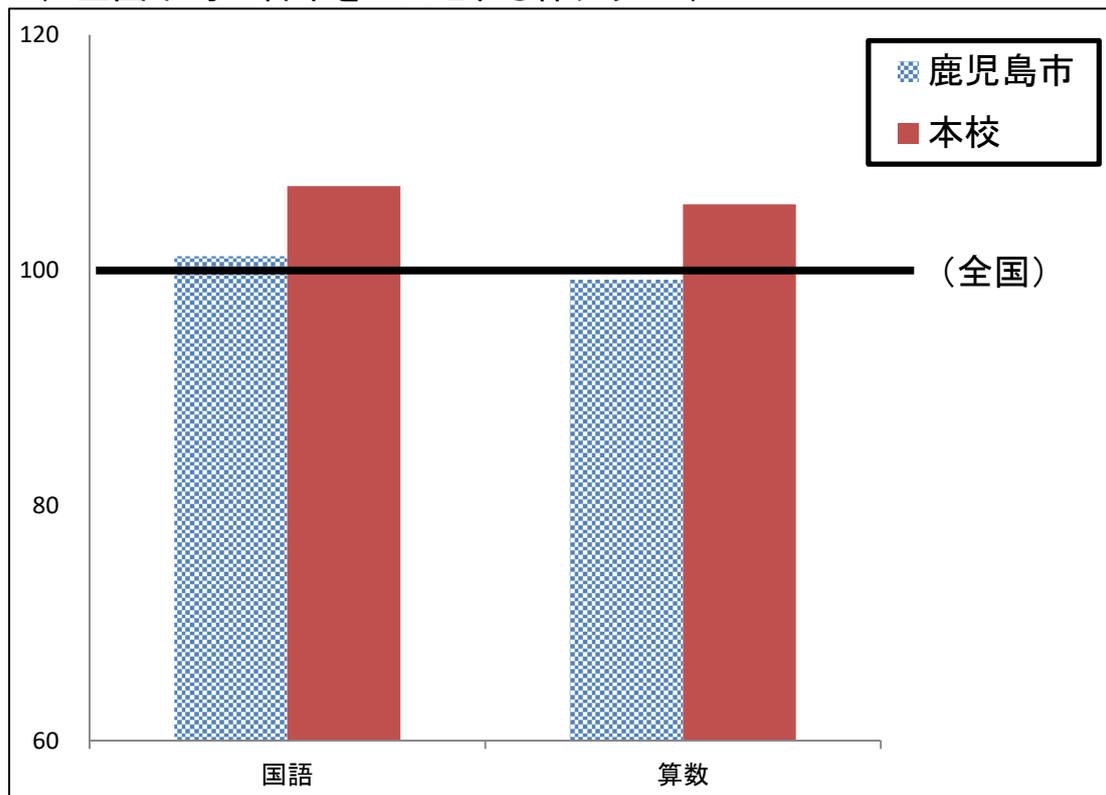


令和5年度全国学力・学習状況調査結果について 明和小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較 〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

【国語】

図表やグラフなどを用いて自分の考えをよく伝えるように書いたり、文章や資料等を読んで自分の考えをまとめたりすることに課題が見られました。また、問題文や長文等を早く正確に読み取る力(読解力)も必要です。

授業の中で、考えや意見などを発表したり、文章にしったりして表現する場を多く設定し、考えの根拠を明確にさせ、論理的に表現させるような学習に取り組んでいきます。書く活動では、字数制限・時間制限・条件設定等の負荷のある課題を与えたり、学習のまとめを子供自身の言葉でまとめたりするなどして、書く力を鍛えます。また、読書活動の充実を図り、長文への慣れ、あきらめずに文章を読む姿勢等を育てていきます。

【算数】

5年生で学習する「割合」の問題の通過率が低い傾向にあります。「割合」の意味や求め方などは、子供たちが苦手としている内容です。また、図表やグラフなどの資料を読み取る力、複数の資料を比較したり、関係付けたりして考える力などに課題が見られました。

通過率が低く、子供が苦手としている学習内容については、教師が把握、記録しておき、その学習内容を重点事項として捉え、大切なポイントをより意識して授業を行うようにします。また、朝の学力向上の時間等を活用して、苦手な学習内容の定着や前学年までの復習にも取り組んでいきます。資料やデータの活用については、正しい読み取り方についての確に指導し、ペア活動やグループ活動など協働的な学びの場を設定しながら、考えを深めたり、広げたりして、確かな考えを導き出す学習を積み重ねていきます。

【全体的に】

児童質問紙「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対して、74%の子供が肯定的な回答をしていました。今後も、授業や学校行事等のすべての教育活動をとおして「自己肯定感」を高める活動をより一層重視していきます。授業においては、全員参加型の授業、「分からない」と言える授業、学びに自己選択、自己決定のある授業を心がけます。また、子供同士の話し合いや教え合い等、対話的な学びが展開し、子供が「分かった」「できた」と実感できるような授業を目指していきます。御家庭でも、子供の意欲や頑張りを認め、誉める言葉かけをよろしくお願いいたします。